

## 年度初めのご挨拶

### 院長 小原 眞

新年度を迎え、当院もまた新しいスタートを切りました。昨シーズンの雪は前年と同様にかなり少なく、病院前の残雪が消えたのは5月2日と、異例の早さでの雪解けでした。毎年楽しみにしている山菜採りも、開始時期が年々早まっています。

昨年度まで総括院長としてお務めいただいた北村道彦先生が定年を迎え、今年度からは顧問という役職に就かれました。これまでは外来・入院・在宅と多岐に渡って診療に携わっていただきましたが、この4月からは外来と在宅診療をお手伝いいただくことになりました（週3日）。北村先生には10年間に渡り、院長・総括院長としてご尽力いただき、心から感謝申し上げたいと思います。

この4月からは園田卓司先生が着任し、早くも多くの仕事・診療に携わっています。専門は神経内科ですが、当院では幅広い分野で診療にあたり、石亀慎也先生と力を合わせ、のびのびと診療を行ってくれています。エネルギーギッシュな内科医が二人揃ったことで、当院の診療のレベルもしっかり維持することができました。



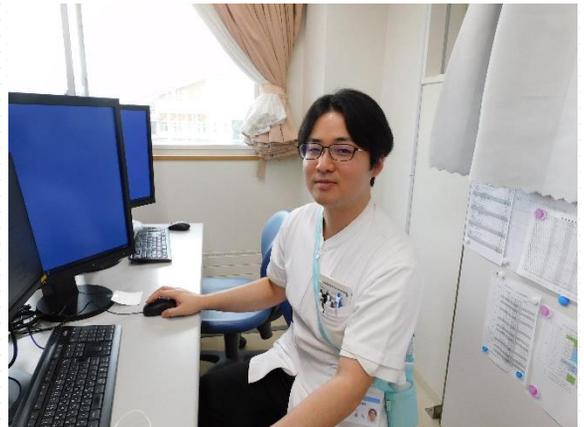
R6.5.29 恒例の病院の環境整備を行いました。

今後もこの診療体制を維持しつつ、地域住民の皆様のためにも更なる充実を図っていきたいと考えています。そのためには関連する医療機関、介護福祉施設等の皆様のご理解とご協力が不可欠です。今後ともどうかよろしくお願い致します。

## 新内科医師の紹介

### 内科医師 園田 卓司

4月より町立西和賀さわうち病院勤務となりました。出身は大分県ですがご縁があり4年前より岩手県で働いています。主に県立中央病院の脳神経内科として勤務しておりましたが一関の千厩病院など地域の病院でも一般内科として働いておりました。西和賀に来て1カ月が経過しましたが町の歴史を学んだり、また自然豊かで山菜も美味しく有意義な生活をさせていただいております。これから町民の皆さんの健康増進に貢献できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



内科 園田 卓司医師

# 町立西和賀さわうち病院勤務10年間の振り返り

町立西和賀さわうち病院 顧問 北村道彦

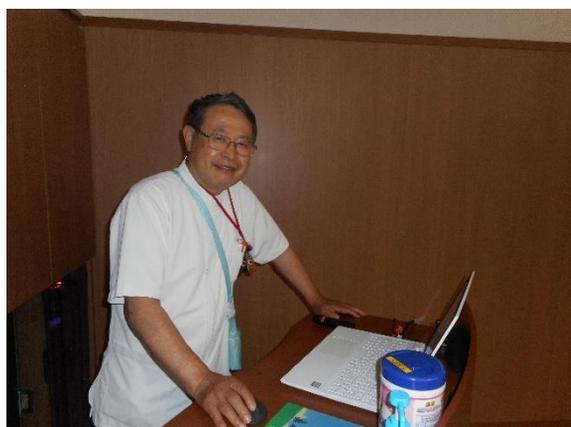
西和賀町の町立病院に勤務して10年が経過しました。常勤医が少なく、病床稼働率も40%を切っており、強い危機感を持って赴任しました。幸い岩手県保健福祉部や医療局の支援をいただき、今年度は常勤医3名、非常勤医は私を含め2名と、10年前には夢のような体制をとることができました。着任時の一番の懸案であった入院患者数は、平成27年度には赴任前年度の2倍増となり、病床稼働率は平成30年度には目標の70%を達成することができました。また、救急車受け入れ数も2倍以上に増加しました。平成26年10月の新病院移転を契機に、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、神経内科の外来診療も開始でき、目標にしていた医療の地域内完結性が上がりました。財政的には患者増加に伴い、医業収入が1.5倍に増加し、包括ケア病床の効果でさらに収入は上がっています。医療の質に関しては、継続的な改善活動を展開し、その結果を臨床指標としてHPIに公開しました。患者医療者関係に関しては、病院を挙げて積極的な患者支援活動に取り組んでおり、病院に対する苦情の減少と感謝のお便りの増加を実感しています。職員の視点では、日本看護協会の教育課程ファーストレベルとセカンドレベル研修受講を計画的に進め、他のメディカルスタッフの研修も積極的に展開中であり、健診受診推進と健診で異常が指摘された職員への精密検査受診勧奨など健康管理に力を注ぎました。このように、医療の質、経営、患者、職員の四つ視点で、プロセス管理やアウトカム管理の改善をある程度達成できたと考えています。また、この間、急性期病院ではあまり経験できない、高齢者を生活に戻す医療の醍醐味を満喫できました。幸せな10年間でした。

私は今年4月から非常勤医として週3回さわうち病院の外来を担当し、一人ひとりの患者さんの健康管理と満足度の維持・向上に微力ながら寄与したいと考えています。

連携いただいた多くの皆様に感謝し、常勤医退職のご挨拶といたします。



R6.3.29 退職のセレモニーを行いました。



R6.6.21 振り返り講演を行いました。



10年間で振り返りました。

町立西和賀さわうち病院 医療福祉連携室担当 高橋 豊宏

〒029-5612 岩手県和賀郡西和賀町沢内字大野13-3-12

TEL:0197-85-3131 FAX:0197-85-3133(直通)

toyohiro1410@town.nishiwaga.lg.jp